

銀座水族館 (七つの海の魚および水産切手)



—41—

三崎出張所 神原 勇

ティラピア (カワスズメ)

分類 スズキ目 カワスズメ科

学名 *Tilapia mossambica*

英名 Tilapia

一般にティラピア又はテラピアと呼ばれ、カワスズメ科に属する淡水魚であるが、海産のスズメダイ科に近縁で原産地はアフリカ東部の河川や湖沼であるが、ティラピア属の他の種はアフリカ北部から中近東にかけて原産地となっている。

日本には1954年タイと台湾から輸入され、沖縄及小笠原の父島では野性化している。在来種のコイやフナの食性と同一であることと、ティラピアの方が環境の変化に耐える性質が強いことなどに起因して在来種を駆逐する傾向がある。このほか鹿児島島の池田湖、伊豆地方、北海道の勇駒別や天人峡温泉などの温泉が湧出する温水域で飼育され、水温15℃以下にならないところが越冬するための重要条件である。

体型はタイ型で、体高は高く背鰭、シリ鰭、尾鰭が大きく良く発達している。一般に魚類は鼻孔が前後にわかれて左右2対あるのが普通であるが、ティラピアは海産のスズメダイ科の魚と同様鼻孔は左右に1対しかないことが大きな特徴となっている。

産卵の時期になると砂礫質の水底に直径50cm、深さ6cm位の掘り鉢状の産卵床を尾鰭と口を巧みにつかひながらつくりだし、産卵と授精が行われる。卵は鳥の卵のような形をしていて長径は2mmほどの大きさで、その数は100~300ヶと魚としては少い方である。受精した卵はすぐに雌が口の中にとり入れ、母親の呼吸する水で卵は回転しながら3~5日位で孵化する。孵化しても10日間位の間は口の中で保護され、やがて卵黄が吸収されてなくなると稚魚は餌を求めて口の外に出ようになるが、危険が迫ると母親は稚魚を口の中に収容する。約2~3週間すると母親からはなれて単独の行動をする。稚魚は20

~25℃の水温で3ヶ月に体長10cm位に成長して性的に成熟する。

その後1ヶ月内外で産卵を繰り返す。この産卵習性のため英名で *mouth breeder* と呼ぶこともある。

ティラピアはこのような産卵後の親の保護が徹底していること、3ヶ月で性的に成熟し1ヶ月毎に産卵を行うので産卵の間隔が短いこと、水の汚染につよいこと、水温は15℃~40℃と広温帯であること但し15℃以下の水温では生息出来ない、塩分は30%以内ならば成長の度合は変わらないこと、水質の変化に対しても良く耐え得ること、食性は雑食性で幼魚は主に植物性プランクトンをとるが、成魚は動物性プランクトン、水生昆虫、小魚などを捕食すること等、愛情こまやかな産卵習性と盛んな繁殖力たくましい生活力とにより、他の魚に対する競争力が非常に強い。

東南アジアへは1939年頃原産地から移殖され、水温、餌料等の育成条件があまりにそろいすぎたため猛烈なる勢いで繁殖を続け、食用魚の豊富なる地域では在来種を圧迫するので敬遠されがちであるが、淡水魚の少いマダガスカル島や東南アジアの高地では歓迎されている。東南アジアやアフリカ諸国では10cm以下の小型魚即ち仔魚を丸のまま煮たり焼いたりして食用としている。コイより美味であると言われるが、日本ではあまり喜ばれないようである。

ティラピアは生活力、繁殖力共に旺盛なのでFAO (国際連合食糧農業機構) では世界的に不足が叫ばれている動物タンパク源として本種にかかる期待も大きく各国での移殖を推進している。

ティラピア (カワスズメ)

分類: スズキ目 カワスズメ科

学名: *Tilapia mossambica*

英名: Tilapia

原産地は東アフリカで、海産のスズメダイ科に近縁である。淡水産で体型はタイ形で体高は高く、背鰭、シリ鰭、尾鰭が大きい。一般魚類に2対ある鼻孔はスズメダイ科と同様に1対しかない。生態的に見ると15℃~40℃の広水温帯であること、塩分に対する抵抗力が強い事、水質の変化に対し順応力のある事、雑食性である事などたくましい生活力のある淡水魚である。雌の口の中で孵化し保護された稚魚は、水温20~25℃で3ヶ月のうちに体長10cm以上に成育しこの後1ヶ月位の間隔で産卵を繰り返す程繁殖力もすさまじい。生活力と繁殖力が旺盛なため世界各地に移殖、養殖されているが日本では沖縄で野性化したものが見られる。同属には体長50cm程になる *T. nilotica*, その他 *T. melanopleura* がある。



—1969



英領ホンジュラス —1971



パキスタン —1973



T. melanopleura
African mouth breed
ブルンジ —1974



ベリーゼ —1974



T. nilotica
Nile mouth breed
ルワンダ —1973